



特集

1. 令和3年産水稻
2. 令和3年産小麦
3. 大豆の状況
4. 飯用米の結果
5. 畦畔農道補修・
防草シート敷設
6. 農作業予定
 - ・11月初旬小麦播種
 - ・11月下旬大豆収穫

ひとりごと

SDGs（持続可能な開発目標）という言葉が耳にされた事があると思う。2030年までに達成すべき17の目標が提起されており、特に身近なのがプラスチックごみの削減、エコバッグを持ち歩く事も貢献する事になる。その他 LGBT や人種・性別に関係なくチャンスが与えられた社会等の問題解決に当てる必要がある。現在我が国が達成しているのは、「高度な教育」のみというのが現状です。農業生産においても安全な水の確保は、安心・安全な食品の確保等に直結、肥料にも脱プラスチックを進めて、将来的に子・孫の世代が明るい未来になるように！久

令和3年産水稻の状況

令和3年産の水稻収穫作業も8月26日からの「みずかがみ」に始まり、9月27日の「日本晴」で無事に完了する事が出来た。今年度の滋賀県の作況指数は平年並み「100」で平年値の収量は確保出来そうであったが、多くの圃場で旧盆時の長雨やヒエの繁茂の影響で減収は避けられそうにありません。課題として、何が主たる原因なのか問題点の抽出をしているところであり、次年度以降の栽培に活かす必要性がある。また、昨年来のコロナ禍の影響で、中食・外食消費の減少に伴う在庫の増加等により、米価の下落傾向が顕著で2014年以来の水準に推移している。買い取り価格が1万円/60kg割れとなっている銘柄もあり、非常に厳しい状況が次年度以降も予想され、栽培計画の転換は喫緊の課題である。

令和3年産小麦

今年度の小麦の結果報告が、出荷先であるJA東びわこよりきましたので報告します。生産量 30,062 kg/703.8a で単収は 427kg/10a 当たりとなりました。参考までに昨年度は389 kg/10a で、他の地域との比較でも増収しており良い結果となっております。数量払いの補助金交付に大きな影響を受けるので、継続していきたいと思う。現在、令和4年産小麦の作付準備作業を進めており、11月初旬から播種を行いますのでご協力をお願いします。
※地域の基準単収 338kg/10a



大豆

梅雨の影響で7月に入ってから播種となりましたが、この頃は葉の黄化も見受けられ順調に生育している。昨年は外来種の雑草が繁茂したことで、多くの方に雑草除去していただきましたが、今年は9月の未だ暑い日に圃場に入って除草作業を実施したので、雑草は抑制されているようです。11月下旬に収穫を予定しており、今後無事に生育すること見守りたい。

飯用米の出荷結果

今年も多くのお飯用米を購入して頂きありがとうございました。皆様のご協力で9月中に全量をお届けする事が出来ました。総務部より案内の通り10月28日に各お届け口座より引落とし処理とさせていただきますので、残高確認をお願いします。※1,348袋



畦畔農道補修・防草シート敷設工事

10月2・3日に畦畔農道補修、9・10日に防草シート敷設等の作業を実施。特にD圃場新川沿いの急傾斜地に防草シートを敷設したので、来年度は除草担当区域の変更を予定しております。

